

目次

目次

序	国分良成	v
多額の借財のような重要事項に関する取締役会の決議	加藤修	一
日本の訴訟終了宣言について	坂原正夫	一七
ワイマール共和国における時間意識の変化	蔭山宏	五
「留置権競売」考	斎藤和夫	七
——民執法一九五条の根本問題の検討——		
伝染病予防法までの道のり	笠原英彦	一三
——医療・衛生行政の変転——		
陰画としての国家	小山剛	一四
ドイツ電気通信法制の変遷とユニバーサルサービス	青木淳一	一七

一九世紀中期・ドイツ普通法学における法諺

《代価は物の地位を襲い物は代価の地位を襲う》について

水津太郎…二〇五

——キールルフの反論とヴェヒターの検討を中心として——

「人」の始期について

伊東研祐…二二七

——「独立生存可能性説」再論——

教唆犯の故意と錯誤をめぐって

川端 博…二四九

イギリスの人体組織法と刑事規制

甲斐克則…二七三

——いわゆる「DNA窃盗」を中心に——

イギリス犯罪学の成立と展開

守山 正…二九一

——三人の大陸系巨匠の貢献——

ドイツにおける社会治療処遇の展開と課題

安部哲夫…三一九

——ドイツ行刑施設等の参観から見えるもの——

地域社会を基盤とする非行防止活動の効果について

小林寿一…三六九

——社会参加活動を中心に——

マス・バイオレンス（集団への暴力）被害への精神的支援

小西聖子…三七五

比較刑法に関する一考察

末道康之…三八九

二〇〇〇年「少年法改正」をめぐる新聞報道と世論形成……………	小川恒夫……………四一五
——新聞報道の熟慮誘発機能の視点から——	
台湾における取調べ規制及び関連供述の評価……………	黄朝義……………四二五
ソフトローの取り扱いに関する問題点……………	澤口聡子……………四三三
——異状死とSIDSに関連して——	
診療録と医療の質……………	岡村敏弘……………四八二
犯罪被害者の法的地位……………	矢野恵美……………五〇七
——スウェーデンの被害者弁護人制度を中心に——	
暴力犯罪者・性犯罪者の再犯リスク評価に関するスイスの議論状況……………	神馬幸一……………五二七
競争法の域外適用に伴う国際的執行の現代的課題……………	伊永大輔……………五三三
——管轄権の抵触とその調整原理としての国際礼讓の規範化——	
加藤久雄教授略歴・主要業績……………	五五五